

飲食店における「受動喫煙防止に関するアンケート」調査結果

I 調査の概要

1 調査の目的

石川県では、健康増進法25条の規定に基づき、受動喫煙防止対策を推進しているところである。県民を受動喫煙から守るため、多くの県民が利用する「飲食店」等の喫煙対策の実態を把握するとともに、受動喫煙防止対策を行うための資料とする。

2 実施主体

石川県健康福祉部健康推進課

3 調査対象

県内の「一般食堂・レストラン等」

(営業許可施設の「一般食堂・レストラン」に該当する業種をタウンページより把握したもの。

対象業種は以下※のとおり。但し金沢市内については、金沢市がプレミアムパスポート登録店を対象に実施する「受動喫煙防止に関するアンケート」のうち、飲食店等に該当するものを含む。)

4 調査方法等

(1) 委託先 : NPO法人禁煙ねっと石川

(2) 調査方法 : 留め置きによる自記式質問紙調査

郵送により配布、回収し、未回収分は調査員が訪問。

* 金沢市「受動喫煙防止に関するアンケート」対象店については、郵送による自記式質問調査(金沢市と県の連名とし、配布及び回収は金沢市が実施)

(3) 調査員 : NPO法人禁煙ねっと石川が雇用する調査員

(4) 調査票 : 調査票1-1(金沢市内)、調査票1-2(金沢市外)

* 金沢市「受動喫煙防止に関するアンケート」対象店については、調査票2

5 集計分析

(1) 金沢市調査分については、金沢市からデータ提供を受けた。

(2) 金沢市調査分を含めて、全県及び地域別に集計分析した。

6 調査期間

平成23年7月～平成24年3月

※調査対象業種

居酒屋、イタリア料理店、飲食店、インド料理店、うどん・そば店、うなぎ料理店、沖縄料理店、懐石料理店、かき料理店、割烹・料亭、かに料理店、カレーハウス、韓国料理店、牛丼店、餃子・しゅうまい店、郷土料理店、串揚げ・串かつ店、小料理店、魚料理店、しゃぶしゃぶ店、食堂、すきやき店、すし店、すっぽん料理店、ステーキハウス、スペイン料理店、タイ料理店、ちゃんこ料理店、中華料理店、中国料理店、朝鮮料理店、天ぷら料理店、鳥料理店、とんかつ店、日本料理店、パスタ店、ふぐ料理店、フランス料理店、ベトナム料理店、もつ鍋店、ラーメン店、レストラン、各国料理店、ファミリーレストラン、ろばた焼店

II 調査結果の概要

1 調査回答状況

タウンページから把握した対象業種のうち、店内に飲食コーナーのある施設は3,518施設であり、今回の調査に回答した施設数は1,920施設であった。(回答率は54.6%)

表1 金沢市・県保健福祉センター別調査数及び回答状況

地 区		調査数	回答数	回答率(%)
金 沢 市		1,736	886	51.0
南 加 賀	小松市、加賀市、能美市、川北町	657	342	52.1
石川中央	かほく市、白山市、野々市市、津幡町、内灘町	531	318	59.9
能登中部	七尾市、羽咋市、志賀町、宝達志水町、中能登町	381	234	61.4
能登北部	輪島市、珠洲市、穴水町、能登町	213	140	65.7
合 計		3,518	1,920	54.6

2 調査結果

(1) お店のたばこ対策と今後の予定

飲食店1,920施設における分煙実施率(敷地内禁煙+全面禁煙+空間分煙)は16.5%であった。また今後の予定(現状継続+検討)では、分煙実施率(敷地内禁煙+全面禁煙+空間分煙)は24.8%であり、喫煙対策を進めようとする意向が伺えた。(図1)

また金沢市・県保健福祉センター別では、分煙実施率(敷地内禁煙+全面禁煙+空間分煙)は石川中央の20.4%が最も高く、次いで金沢市の18.5%、能登中部が10.3%で最も低かった。また、今後の予定(現状継続+検討)では、いずれの地域でも分煙実施率が増加する見込みである。(図2)

図1 たばこ対策の現状と今後の予定

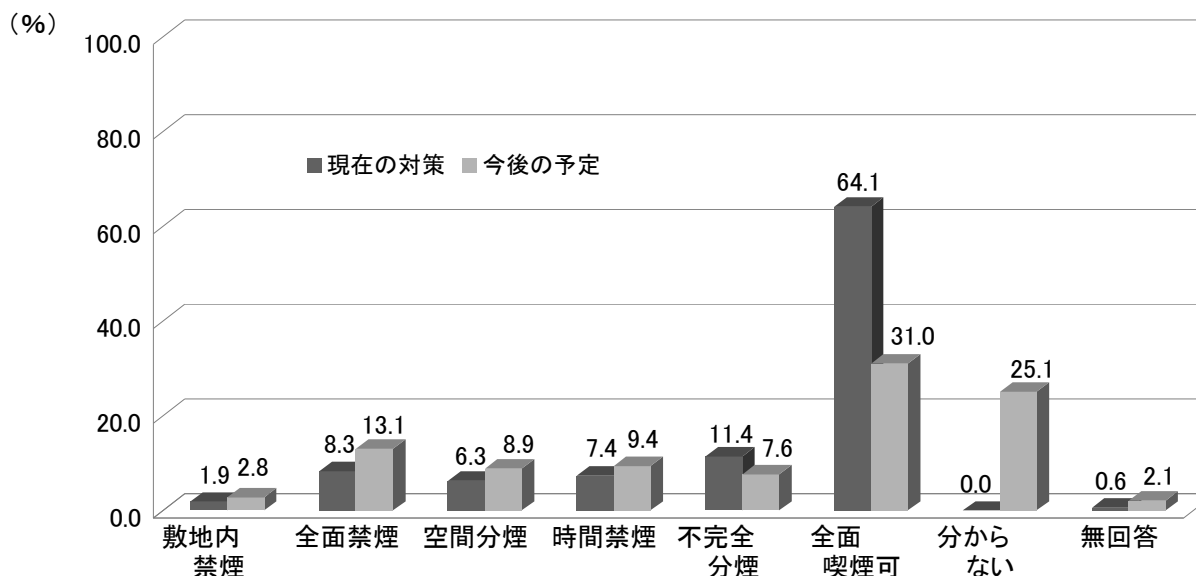
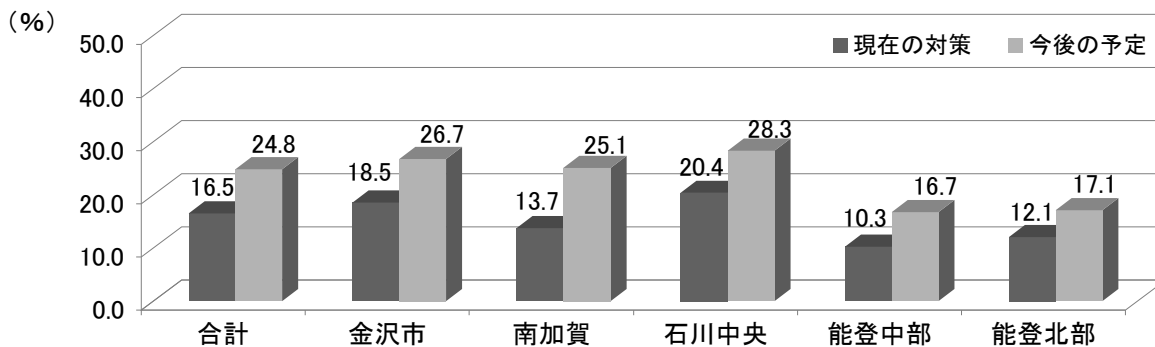


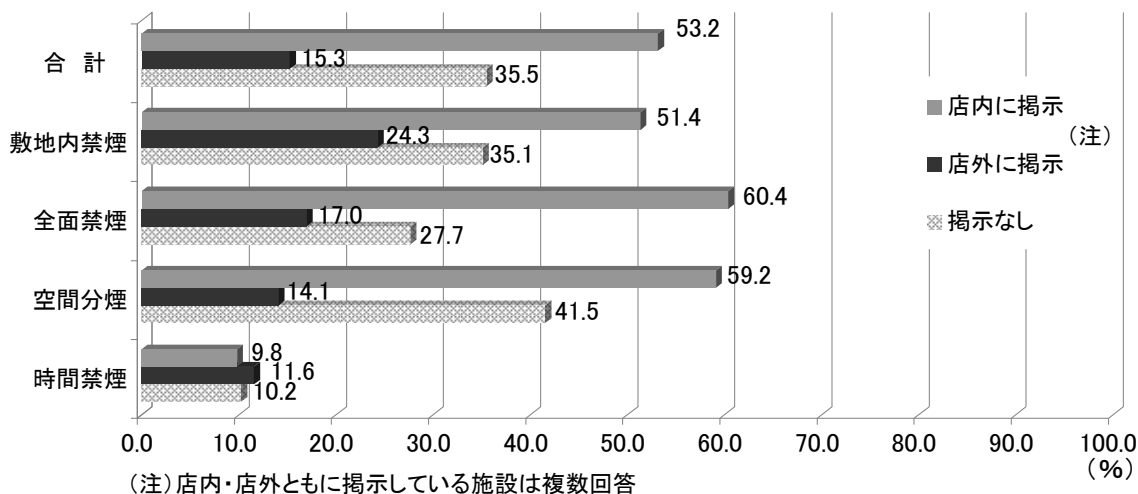
図2 金沢市・県保健福祉センター別分煙実施率(敷地内禁煙+全面禁煙+空間分煙)



(2) 「禁煙」及び「分煙」の表記方法

「禁煙」(敷地内禁煙、全面禁煙、時間禁煙)及び「分煙」(空間分煙)等の表記は、店内が53.2%、店外が15.3%であり、掲示なしが35.5%であった。(図3)

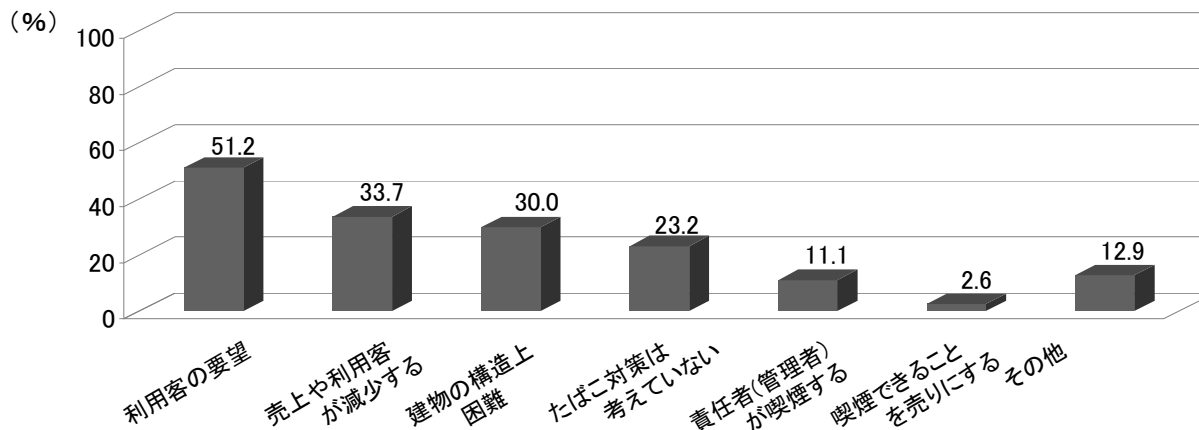
図3 「禁煙」及び「分煙」の表記方法



(3) 「禁煙」、「空間分煙」にしない理由 (複数回答)

「禁煙」や「空間分煙」にしない理由として最も多いのは「利用客の要望」で51.2%、次いで「売上や利用客が減少する」の33.7%、「建物の構造上困難」の30.0%、「たばこ対策について考えていない」の23.2%であり、「責任者(管理者)が喫煙する」は11.1%、「喫煙できることを売りにする」が2.6%であった。(図4)

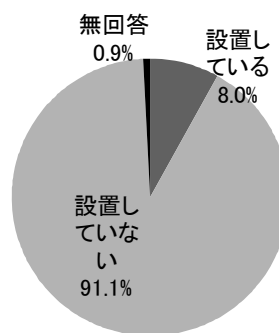
図4 「禁煙」や「空間分煙」にしない理由



(4) たばこの自動販売機(売店を含む)の設置状況

たばこの自動販売機(売店を含む)を設置している施設は8.0%であった。(図5)

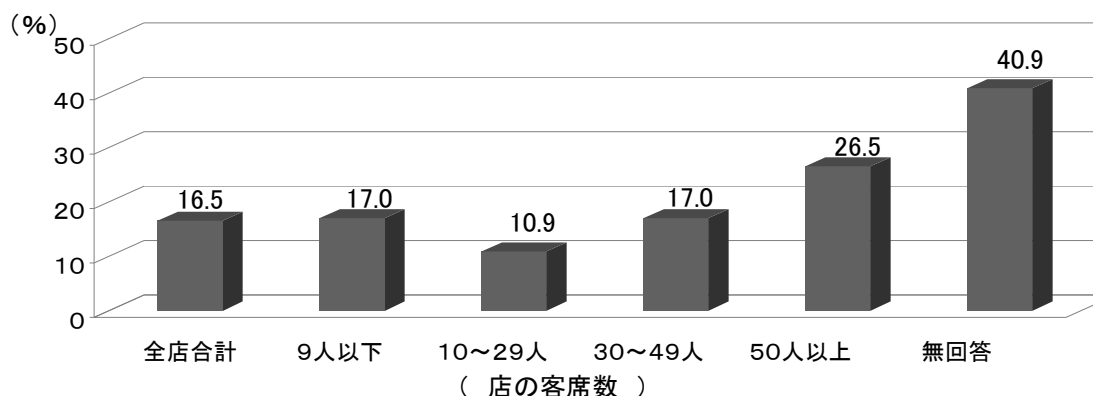
図5 たばこの自動販売機
(売店を含む)の設置状況



(5) 客席規模別分煙(敷地内禁煙+全面禁煙+空間分煙)実施状況

客席規模別の分煙実施率(敷地内禁煙+全面禁煙+空間分煙)をみると、50人以上の施設は26.5%が最も高く、次いで30~49人及び9人以下の施設が17.0%、10~29人の施設が10.9%の順であった。(図6)

図6 客席規模別分煙実施率(敷地内禁煙+全面禁煙+空間分煙)



(6) 責任者(管理者)の喫煙状況とたばこ対策状況

責任者(管理者)の喫煙状況をみると、最も多いのは「吸わない」の38.0%であり、次いで「吸う」34.7%、「以前吸っていたがやめた」26.1%の順であった。(図7)

また、責任者(管理者)の喫煙状況別に分煙実施率(敷地内禁煙+全面禁煙+空間分煙)をみると、責任者(管理者)が「吸わない」施設で19.5%であり、「吸っていたがやめた」で14.3%、「吸う」で14.8%であった。(図8)

図7 責任者(管理者)の喫煙状況

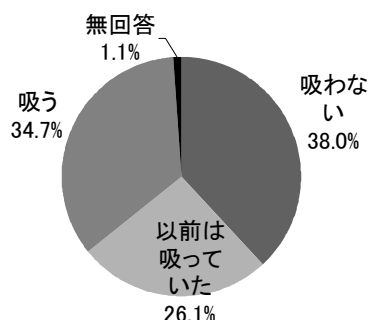
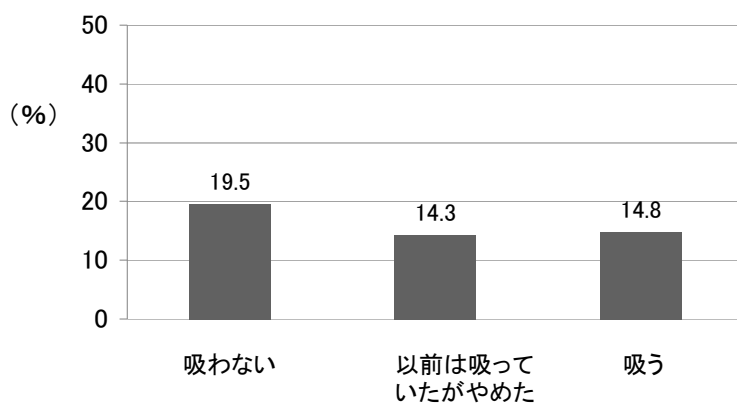


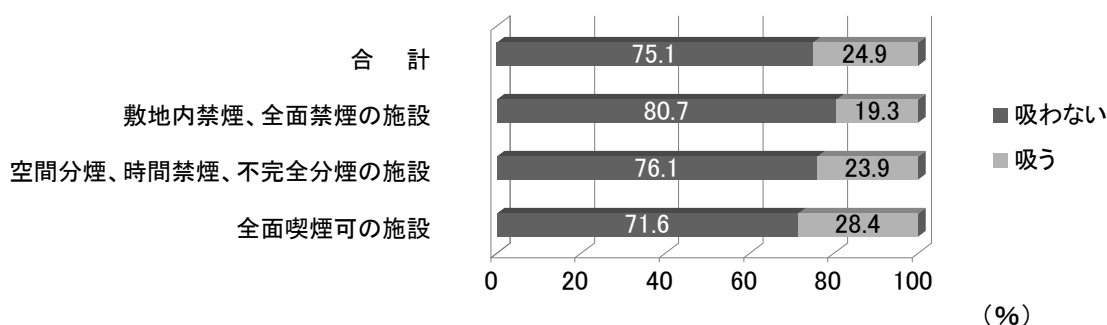
図8 責任者(管理者)の喫煙状況別分煙実施率(敷地内禁煙+全面禁煙+空間分煙)



(7) 従業員等の喫煙状況

従業員の喫煙率は24.9%であった(図9)。

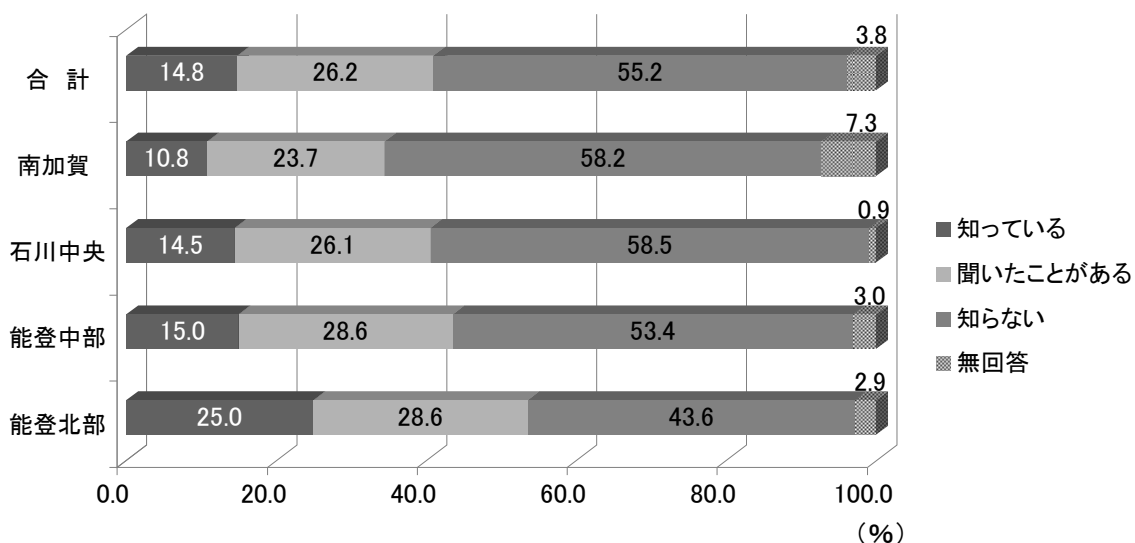
図9 従業員の喫煙状況



(8) 健康づくり応援の店の認知度

健康づくり応援の店について「知っている」と回答したのは14.8%であり、「聞いたことがある」が26.2%、「知らない」が55.2%であった。

図10 健康づくり応援の店の認知度



健康づくり応援の店・・・県民の皆様が外食などをする際に、さまざまなサービスを提供することにより健康づくりを応援するお店のことです。
 応援内容の一つに、「快適サービス」があり、「受動喫煙防止の配慮を行っている」という項目を組み込んでいます。